

平成20年1月10日

ヘルパーステーションだいとう ケアレポート No13

ヘルパーステーションだいとうのケアレポートNo13をお届けします。

昨年12月の当ステーションの研修会に於いて、事例発表会を開催しました。

私どものご利用者の中から5名の方（匿名です）の事例の報告とディスカッションが、行われましたので報告いたします。

〈事例1〉

介護サービスから介護予防サービスに移行し、訪問回数の見直し等によりサービス提供量の減少に利用者は不同意であったが、自立支援を意識しながらのプランに沿って活動して行く中で、自分で身体を動かしながら生活力が回復する喜びを表出するに至った事例。

まとめ： 利用者の依存的な気持ちが自立的に変化した要因を詳しく分析することで、他の事例との共有が出来る。この度の事例についてはサービス提供責任者を中心にさらなる分析を進めて行くこととした。

〈事例2〉

ADL（日常生活動作）の低下に伴い生活意欲も減退し、着替えや整容も怠りがちで、ベッドで寝て過ごすことが多かった利用者が、ヘルパーの訪問を機会に少しずつ生活への意欲が出て、片づけや着替えに前向きになった事例。

まとめ： 家族との接触のみで、閉じこもり気味の社会性を失いつつある利用者に対しては、通所系サービスあついは訪問系サービスの利用によって他者との接触が確保される。その人の生活の場で活動するヘルパーは受け入れに留意しながら上手く展開出来れば、生活の場でのQOLの向上と社会性の回復の両者が期待できる。

〈事例3〉

在宅療養か入院治療かの家族の意見が分かれる中、介護に自信がないにもかかわらず在宅療養を選択されたターミナルの利用者の事例。

まとめ： ターミナルケアの事例では利用者やその家族は強い気持ちを持っておられるため、身体介護、生活援助に加えて精神的なケア、スピリチュアルケアの視点も必要である。ヘルパーは不安を持つ介護者に対しては専門家としての信頼を得ると共に、精神面にも配慮して、それぞれを孤独にしない、常に寄り添う気持ちを伝えることが肝要である。このケースの場合、それらの点を考慮しながら、医療者との連携の元にヘルパーが関わり、家族の不安にも対応することで不安を抱えながらも自信を持たれ、最後まで自宅介護された。

〈事例4〉

寝たきり状態でADLが低い（要介護5）にもかかわらず、長期にわたって安定的に状態を維持され、在宅生活を継続されている要因を検討した事例。

まとめ： 様々な出来事を経験を経てゆく中で本人・家族とサービス提供側の信頼関係が醸成されてゆくと、連携やコミュニケーションは上手くいくようになり、そのことが課題を乗り越える力となり、さらに信頼関係が補強される良好な循環を形成して行く。様々な登場する課題やミスさえも共有し、過剰に反応することなく冷静に対応できるだけでなく、家族間の余裕を感じることも出来る。

〈事例5〉

自宅での看取りに於いて、医療的知識の十分でないヘルパーにとっては、本人・家族へのケアを行いながら、自らの抱える不安も大きい。そのような状況の中で、主治医や訪問看護師との綿密な連携や、ヘルパーの事業所・サービス提供責任者からのバックアップを行いながら看取った事例。

まとめ： ターミナルの利用者を自宅で看取る際、ヘルパーの活動を最後まで続けるためには、ケース毎の個別性は大きい最後の段階であるエンドステージ（例えば亡くなる前の一週間）においては、家族・医療者・介護サービス担当者間の観察、報告、診断・評価が一体的に行われ、利用者本人に対するケアのみならず、同時に、いずれ遺族となる介護する家族の予期悲嘆へのケア（例えばグリーフケア）が重要になってくる。

- * 紙面の都合で内容を概要として示しました。
- * 事例発表・ディスカッションは利用者の方が特定されないよう匿名・匿住所で行い、発表資料も事後に回収し処分しています。

個々のサービス提供責任者やヘルパーの経験を他のスタッフと共有するためには、このような事例発表は有効な手段の一つと考えています。また、単に経験の共有にとどまらず現場でサービスを提供するヘルパーにとって、自分の仕事の位置づけや意味合いを知ることが出来ます。利用者や家族が抱える状況の共有、ケアマネージャーが作成するケアプランの示す目標・方向性の確認、それらをふまえた訪問介護の居宅サービス計画（個別援助計画）、またそれらに従ったヘルパーの業務内容、サービス提供方法なども確認され共有されます。

さらにはサービス担当者会議や事業所内で行われる、ケース毎の検討会の質の向上にも役立つものと思われまます。ご利用者・ご家族あるいは主治医の先生、ケアマネージャーや他のサービス事業所の方々と、ヘルパーやサービス提供責任者とのディスカッションが深まることを期待しております。ご協力の程よろしくお願いいたします。